

歴史上、初の、本格的な学術調査、いよいよ始まる！

2018(平成30)年11月 9日
理事長 小竹直隆



日頃、皆さまには、ご支援を賜り誠に有り難く、深く感謝申し上げます。

2017年1月に設立以降、およそ1年9カ月に至る間、文化財保護法の改正やインバウンドの激増による等の内外の環境変化を受けての新たな運動を展開し、現在に至っております。機関誌第3号では、ご好評を頂きましたキックオフセミナー「江戸城の見える化」を特集させて頂きましたので、お楽しみ下さい。

さて、いよいよ、歴史上、初の、本格的な学術調査、研究がスタート致しました。都市東京（江戸城・城下町）等に現存する文化財の保存と活用及び、失われた天守や本丸御殿等の歴史文化遺産の復元・活用に向けた調査、研究は、江戸城再生の基本構想の元になると存じます。文化財やまちづくり・景観行政に関わる基本文献の収集、江戸城関連の遺構・建造物の分布や一覧表の作成に向け、取組んで参ります。

また、公益財団法人を目指し、事務局基盤や組織・人事体制の整備等の取組みも鋭意、進めて参ります。

皆さまには、どうか、お力添えを頂きますよう心よりお願い申し上げます。